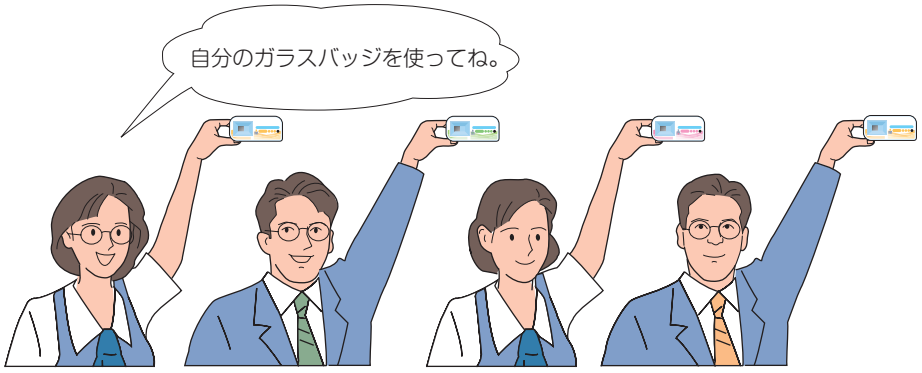
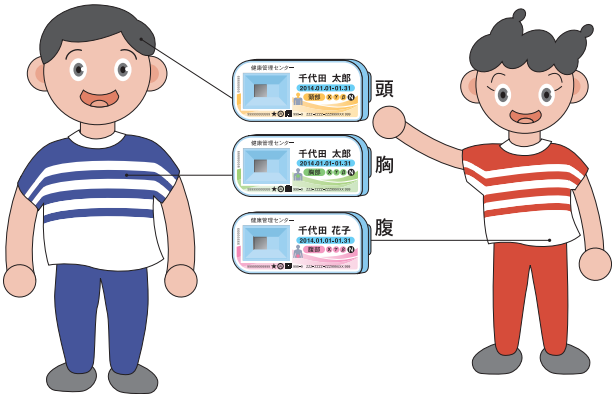
2 モニタ取扱上のご注意

モニタ取扱い上のご注意を以下に説明します。

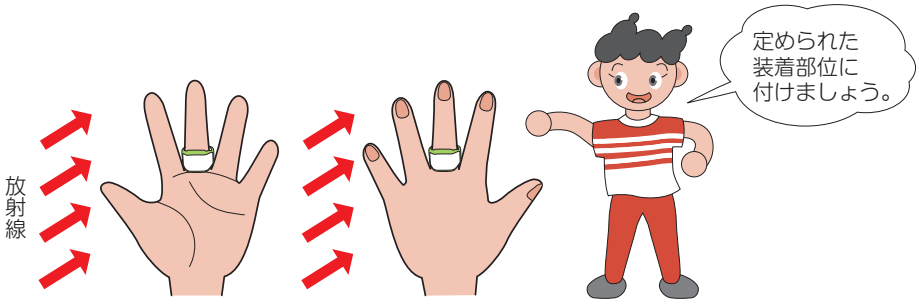
- ご自分のガラスバッジやガラスリングであることをご確認ください。



- 定められた部位に装着してください。
- 装着したガラスバッジの前面に筆記用具、硬貨などがないことを確認してください。
- 装着したガラスバッジやガラスリングのラベルの向きが放射線を受ける側にあることを確認してください。



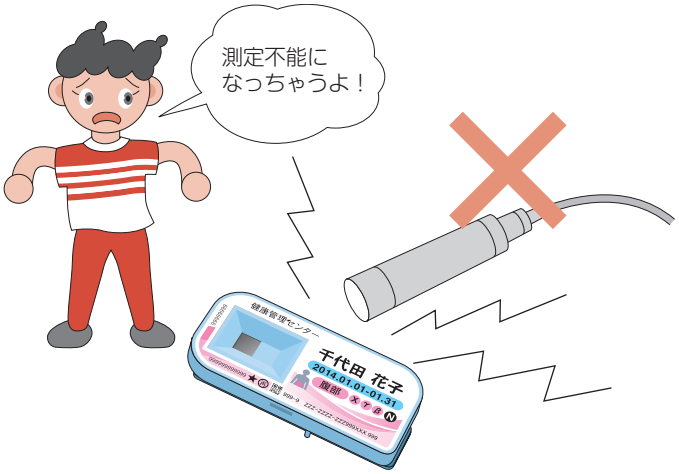
- ガラスリングは、放射線を手の甲側から受ける場合は手の甲側にラベルを向け、手の平側から受ける場合は手の平側にラベルを向けてください。



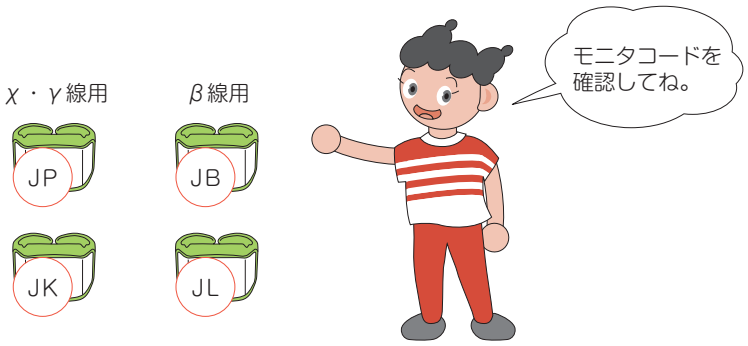
- ガラスバッジのシュリンク包装は破らないでください。
- ガラスバッジやガラスリングの中身を絶対に取り出さないでください。

- ガラスバッジやガラスリングのラベルを汚さないでください。
- ガラスバッジやガラスリングのラベルを剥がさないでください。
- ガラスリングのラベルは熱湯に浸すと剥がれることがありますので、ご注意ください。

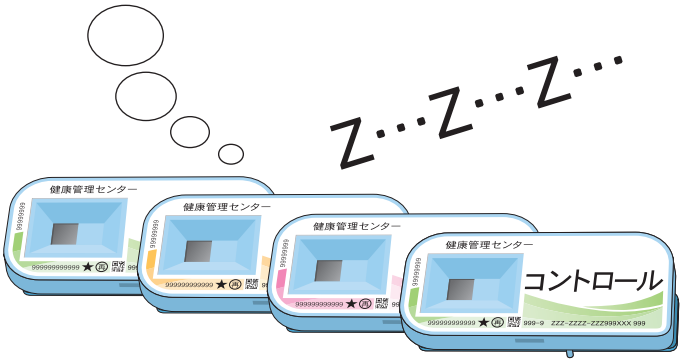
- ガラスバッジやガラスリングを汚染しないようにしてください。
- 汚染する恐れのある場所では、ガラスバッジをジーガード【収納袋（質量厚さ：16mg/cm^2)】に入れてください。ジーガードを使用するときはモニタコードの変更をお願いします。
（モニタコードを変更されないまま測定の依頼をされますと、β線が過少に算出されることになりますのでご注意ください。）



- X・γ線用ガラスリングは、X・γ線を受ける可能性のある作業に従事するときにご使用ください。
  このときラベルのモニタコードが「JP」または「JK」であることをご確認ください。
- β線用ガラスリングは、β線を受ける可能性のある作業に従事するときにご使用ください。
  このときラベルのモニタコードが「JB」または「JL」であることをご確認ください。



- 日々の放射線業務終了時には、あらかじめ定めた保管場所にモニタを保管してください。
  （環境用ガラスバッジは、ご使用期間中は設定した場所に取り付けたままとしてください。）



- 個人用のガラスバッジを環境測定、実験などの他の目的にご使用することは避けてください。
  個人用のガラスバッジを環境用としてご使用されますと過少評価となります。環境用の測定には、環境用ガラスバッジ（モニタコード：「ES」「EN」）をご使用ください。
- 環境用のガラスバッジを個人用、実験などの他の目的にご使用することは避けてください。環境用のガラスバッジを個人用としてご使用されますと過大評価となります。

- ガラスバッジには、X線用・広範囲用・中性子用などモニタの種類がいろいろあります。それぞれの作業環境にあったガラスバッジをご使用ください。